

睡眠歯科医学基礎講座 2021 のご案内

2021 年 10 月 7 日

主催：日本睡眠歯科学会

担当：教育委員会

本年も「睡眠歯科医学基礎講座 2021」を開催致します。学術集会と同様に通常開催に加えて、大学等で許可が下りない方や来場が不安な方へライブ配信をおこなうこととなりました。今回も多くの先生を講師としてお招きし、睡眠歯科医学基礎講座を企画致しました。本講座は「睡眠歯科医学の基礎」と「最先端の研究」を学術集会開催会場だけでなくスマホや PC から学ぶことができる絶好の機会です。（本講座は日本睡眠歯科学会 認定医単位取得が可能な講座の 1 つです。）

「臨床編」は睡眠歯科の臨床にとって必須の内容であり、ご経験豊富な先生方のご講義を通して、基本知識の習得とアップデートをしていただきたいと思います。

有吉 祐先生には、「医科における閉塞性睡眠時無呼吸（OSA）と医科歯科の連携」についてご講義いただきます。

歯科医師が睡眠医療に関わる人が多いものとして「閉塞性睡眠時無呼吸（OSA）に対する口腔内装置（OA）治療」がありますが、医科では患者の重症度や患者背景によって治療方法が選択されています。その大部分を占めるものが CPAP 治療や OA 治療であり、OA を作製する歯科医師にとって CPAP 治療をはじめとする医科での睡眠医療を理解することが OA 治療を成功に導く上で重要となります。今回は、「睡眠の専門クリニック」で実際におこなわれている医科からの視点は歯科医師にとって大変貴重な知見となるでしょう。

「歯科と閉塞性睡眠時無呼吸（OSA）」について

田上隆一郎先生には「歯科で行う検査、診断、医科からの紹介状の読み方・考え方」について、榎原絵里先生には「OA 治療の基礎と臨床（作用機序、作製方法、調整、副作用）」についてご講義頂きます。

医科から紹介を受けて歯科での OA 治療が始まりますが「OA 治療は OA を作製して装着するだけ」ではなく、OA 作製から評価に至るまでを歯科医師は理解しておく必要があります。その前提として「医科からの紹介状の内容を正しく理解すること」が非常に重要で、実例を挙げてご講義いただきます。

また OA の作用機序をはじめ正しい作製、正しい調整、副作用などの基礎的なことを理解することが重要です。 これらの診断と対処法の理解が OA 治療の継続に繋がり、OA 治療を成功に導くこととなります。

「研究編」は本学会における研究者の育成、論文を執筆する会員数の増加、睡眠歯科医学の発展を目的として毎年実施しております。

渡邊 裕先生には、「論文の書き方」についてご講義いただきます。

論文を効率的に作成し、学術誌（英文誌も含む）に投稿、公開するための方法についてご講義頂きます。これから論文を作成しようと思っておられる方、論文の作成途中で悩まれている方にとっては、貴重な機会になるかもしれません。

奥野健太郎先生には「大学における睡眠歯科医学教育の現状と今後の展望」についてご講義いただきます。

国内の歯科大学・歯学部を対象としたアンケート結果から見えてきた問題点をもとに、今後の睡眠歯科教育の目指すべき方向性についてのご講義を頂く予定です。

對木 悟先生には「研究成果を論文発表以外で見える化する方法」についてご講義頂きます。

睡眠歯科医療に携わる歯科医療従事者は世界中の研究者が共有している論文をもとに自らの経験を合わせて臨床をおこなっていますが、素晴らしい研究成果を論文に発表するだけでなく実用化することは非常に困難です。その解決策のカギとなる知的財産権について御講義いただく予定です。

「歯科衛生士・歯科技工士編」は、睡眠医療に携わる衛生士・技工士の育成を目的とし毎年企画しております。

今回歯科衛生士編の古畑 升先生には「キーパーソンとしての歯科衛生士の役割」についてOSA患者の第一発見者になる可能性など歯科衛生士の役割についてご講義頂きます。歯科技工士編の渡辺崇文先生には基礎的な「OA製作のポイント」について具体的な臨床経験を交えながらご講義頂きます。これらは共に睡眠医療に携わる歯科衛生士や歯科技工士の方々を対象にしていますが、臨床編と研究編に引き続き開催されますので、多くの皆様のご参加をお待ちしております。